



Softing Industrial Automation は、SafeNet Sentinelで知的財産の保護と dataFEED OPCソフトウェアソリューション の不正コピーからの保護を可能に

ケーススタディ

産業用通信技術業界は、世界的な企業が多く参入することで、競争が激化しています。その中において、Softing社は世界をリードする製品と技術を提供しています。モノのインターネット (IoT) に関わる活動の一環として、Softing社は、セキュリティの強化や知的財産の保護、そしてエンドユーザー向けソフトウェア製品のさらなる収益化を実現するために、実証済みのプロテクションやライセンス技術を導入する必要性に気づきました。

背景

OPC Unified Architecture (UA) は、モノのインターネットにとって鍵となる技術として認定されてきました。これには、「Industrie 4.0」(ドイツ政府主導による産業用IoT導入に向けたイニシアチブ。関連する機会や課題に対応するための手段を提供する)も含まれます。OPC UAとは、OPC Foundationによって開発された相互運用性に関する標準規格であり、プラットフォームに依存しないデータと情報の交換を可能にします。Softing社は、同社のエンドユーザー向けソフトウェア製品に、OPC UAなどの標準規格を採用しています。これらのソフトウェア製品には、プログラマブルロジックコントローラ (PLC) およびOPCクライアントアプリケーション (SCADA、ERP、MESなどのITシステム) 間の通信の最適化に使用される、OPCサーバおよびOPCミドルウェアが含まれます。

課題

同社のソフトウェア製品であるdataFEED OPCスイートは、全世界で提供されています。されています。同製品を保護し、さらなる成功に導くには、ソフトウェアコードに含まれる知的財産の安全を保ち、ソフトウェア製品の不正な使用を防ぐ必要があることを、Softing社は認識していました。また同社は、潜在的なユーザーが購入前にソフトウェアを試用できるようにする手段を必要としていました。「デモバージョンは用意していませんでした」と、Softing社のOPC製品の製品管理者であるAndreas Röck氏は述べました。Softing社のソフトウェアは顧客や市場のニーズに合わせて機能を有効または無効にすることも不可能でした。

同社は、エンドユーザー向けソフトウェア製品の完全なる収益化を実現するために、セキュリティの強化や知的財産の保護を行い、デモバージョンの提供や機能ベースのライセンスを可能にする、堅牢で実証済みのプロテクションやライセンス技術を導入する必要性に気づきました。

課題

- OPC製品の不正な使用
- 知的財産 (IP) の保護が必要
- ソフトウェアのデモバージョンの提供無し
- 機能を有効または無効にできない

ソリューション

- Sentinel LDK
- Sentinel HL MaxおよびSentinel SL

結果

- IP保護により知的財産の安全を保つ
- コピー プロテクションにより投資利益率 (ROI) を最大限に
- 機能ベースのライセンスにより市場ニーズへの対応を向上
- ハードウェアまたはソフトウェア ベースのプロテクションキーによるライセンスの施行
- 迅速な実装
- 簡単そして、すぐに配布可能なライセンスソリューション

ソリューション

慎重に検討した結果、コピープロテクション、知的財産保護、ライセンスの有効化、そしてコンプライアンスと管理のためにSofting社が選択したのは、Sentinel HL Maxハードウェアキー（ dongle ）をともなった Sentinel License Development Kit (LDK) でした。「当社の OPC 製品は世界中に配布され、利用されているため、ソフトウェアライセンスングは不可欠です。収益確保のためには、制限付きのライセンスポリシーとライセンスの取り扱いが重要です。そのため、エンドユーザー向けの OPC 製品は、Sentinel HL によってライセンスングと保護が行われているのです」と Andreas Röck 氏は述べました。Sentinel HL に加えて、Softing 社はソフトウェアベースのライセンスングを好む顧客に対し、Sentinel SL も提供しています。

dataFEED OPC スイートは、OPC 通信用のコンポーネントを一つの製品にまとめたフルパッケージです。PLC プロトコルを統合することで、同製品は 50 種類を超える PLC へのアクセスを可能にします。これには、Siemens、B&R、Rockwell、Schneider Electric、三菱などの主要な企業が含まれます。



この機能は、OPC UAサーバ機能によって拡張が可能です。これにより、OPC UA非対応コンポーネント (Siemens S5コントローラなど) の OPC UA環境での使用が可能となり、IoTおよび「Industrie 4.0」に対応することができます。

統合されたトンネル機能は、DCOMのセキュリティ設定のセットアップやメンテナンスの時間を削減します。これにより、ネットワークにおける OPC 通信の設定が大幅に向上します。dataFEED OPC トンネルは特別なアーキテクチャのため、ネットワーク内で使用されている PC の設定要

件は最小限となっています。そのため、企業内コンピューターおよびネットワークのセキュリティポリシー (ファイアウォールの設定など) への準拠が可能です。

最新の GUI は、インテリジェントでプラクティス志向のデフォルト、セットアップウィザード、ドラッグアンドドロップのサポート、ユーザーへの直観的なガイダンスなどを備えているため、OPC 通信の設定に必要な時間を大幅に削減することができます。

SafeNet Sentinel HL Max キーは、dataFEED OPC スイートのプラグインとして Softing 社による知的財産への投資を守り、機能ごとのライセンス付与を可能にし、PC での dataFEED OPC スイートソフトウェアの不正な使用を防ぎます。

Softing 社のソフトウェア部長である Herr Rummel 氏はこう述べています。「Sentinel HL Max キー上のライセンス情報の読み取りには、Sentinel API が使用されました。OPC サーバ製品ごとに、Sentinel HL Max キーが つねに割り当てられ、それぞれのキーには複数のフィーチャライセンスが含まれています」

Softing 社が導入に要した時間は、わずか数週間で、実装からテスト、運用に至るまでの全体です。これには、Sentinel HL の拡張された動的メモリのような、新機能を習得する時間も含まれています。

「当社の OPC 製品は世界中に配布され、利用されているため、ソフトウェアライセンスングは不可欠です。収益確保のためには、制限付きのライセンスポリシーとライセンスの取り扱いが重要です。そのため、エンドユーザー向けの OPC 製品は、Sentinel HL によってライセンスングと知的財産の保護が行われているのです」

~ Softing Industrial Automation 製品管理担当 Andreas Röck 氏

結果

Sentinel LDK によって、Softing 社は同社のコード内に存在する知的財産の安全を保ち、同社の競争上の優位性を守ることが可能になりました。また、Sentinel HL Max によって、Softing 社はライセンスコンプライアンスの監視と施行が容易になり、収益を守ることが可能になりました。将来的には、より多くの製品を一つのキー上でリリース・提供するために、Softing 社はドライバレス HL Max キーを使用することを計画しています。

Sentinel HL をベースとしたライセンスングを通して、Softing 社の子会社とチャネルパートナーの双方に対し、すぐに配布可能なライセンスングが実現しました。「さまざまなディストリビューションチャネルを通じて OPC ソフトウェアを販売していることから、取り扱いが簡単で、すぐに配布可能なライセンスングソリューションを選ぶことが重要でした。Sentinel によって、それは実現しました。販売店には CD とキーが渡されます」と、Andreas Röck 氏は述べています。「当社のソフトウェアをどのようにパッケージし機能を有効化するかという点で、Sentinel は大きな柔軟性を与えてくれます」と Andreas Röck 氏は言います。「シンプルな機能構成のおかげで、個々の顧客やさまざまな市場に合わせて、当社製品をカスタマイズする力を手に入れることができました」

Softing 社が SafeNet Sentinel を選択した理由を尋ねると、Herr Rummel 氏はこう答えました。「私たちが SafeNet を選択した理由は、同社が業界におけるリーダーであり、素晴らしいライセンスングソリューションを持っているからです。当社は過去にも SafeNet と仕事をすることがあり、長年に渡って運用と技術の両レベルで、緊密なコラボレーションを行ってきました。些末なことですが、SafeNet のセールスエンジニアリングは、動的メモリ割り当てなど新しい機能を使用するに当たり支援してくれました。SafeNet は、有言実行で当社の力になってくれています」

Softing Industrial Automation GmbHについて

フィールドバス対応デバイス、コントローラ、ホストなどを結ぶ産業用データ通信が、30年以上わたってSofting Industrial Automationの主要事業であり、この先もそうあり続けます。同社が焦点を合わせているのは、プロセスエンジニアリングアプリケーションや組立型製造分野における標準化された技術の利用です。社内技術と部門をまたいだ専門知識に基づいて、Softing社は革新的なハードウェア製品やソフトウェア製品とともに、フィールドバス技術、産業用EthernetおよびOPC向けの包括的な統合サービスを提供しています。詳細については<http://industrial.softing.com>をご覧ください。

SafeNetについて

SafeNetは、オンプレミス、組み込みおよびクラウドベースのソフトウェアベンダーに向けたライセンスングおよびエンタイトルメント管理ソリューションで業界をリードするプロバイダです。SafeNetのSentinelは、安全で、柔軟な、将来を保証する収益化ソリューションにより、ソフトウェア業界で最も信頼されているブランドです。

詳細については、www.safenet-inc.jp/software-monetization-solutions/をご覧ください。



SENTINEL
SOFTWARE
MONETIZATION
SOLUTIONS

お問い合わせ先: すべてのオフィスの所在地と連絡先情報につきましては、www.safenet-inc.jpをご覧ください。

フォローする: www.safenet-inc.jp/news-media

©2015 SafeNet, Inc. All rights reserved. SafeNet および SafeNet ロゴは SafeNet の登録商標です。
その他の製品名はそれぞれの所有者の商標です。CS (JP) A4-Feb122015